

(2) 中村中学校

学 校 長 松田 文雄
校内研究代表者 田村 真美

1. 研究主題

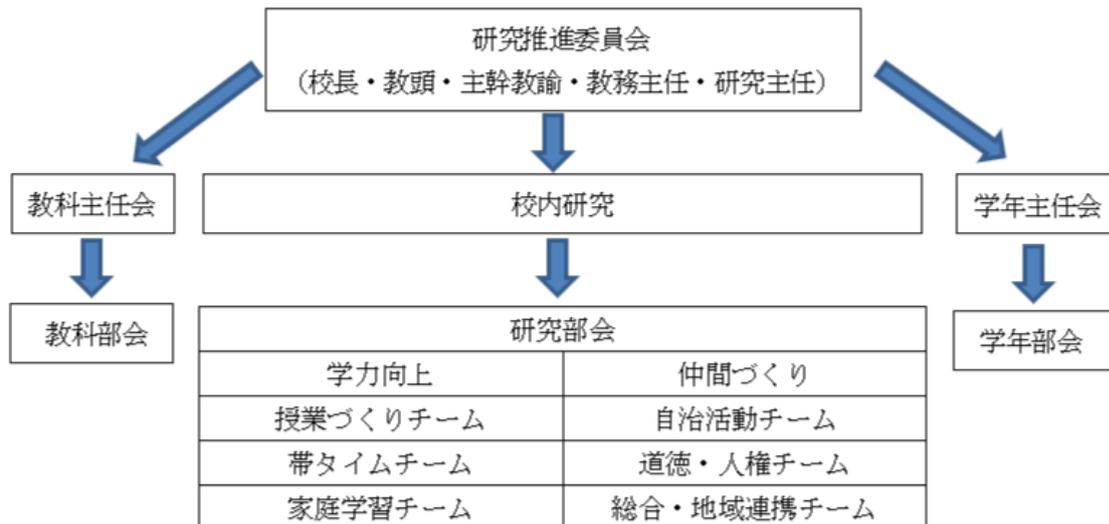
「深い学びの実現に向けた学習過程の工夫」
～数学科を軸とした各教科における見方・考え方を働かせた授業づくりを通して～

2. 主題設定の理由

本年度は県の指定「主体的・対話的で深い学び」を実現するための実践研究事業」の2年目、「中学校組織力向上のための実践研究事業」の4年目の研究指定を受け、さらに国立教育政策研究所の「教育課程研究指定校事業」の研究指定を受けている。

本校では全国学力学習状況調査、高知県学力定着状況調査や標準学力調査を検証軸として、授業改善しながら、学力向上に取り組んできた。しかし、学んだ知識を活用して自分自身で解決する力、未知の状況でも対応できる思考力・判断力・表現力等に課題が見られる。課題の要因として、これまで各教科が異なった視点で授業づくりを行ってきたことにより、各教科で培った力が教科等横断的な資質・能力につながっていないことが考えられる。そこで、課題改善のために、単元や題材のまとまりを見通しながら、各教科における見方・考え方を働かせる授業づくりを全教科で取り組む。そして、数学科を軸に日常事象から生徒が主体的に考えることができる「問題」「めあて」や既習事項を生かす新たな課題発見へと繋がる「まとめ」「振り返り」の学習過程の研究を重ねる。数学科を軸にして、各教科を繋げていけば新学習指導要領で明確化された育成すべき資質・能力が教科等横断的に身に付き、「生きる力」の育成に繋がるという仮説のもとに、研究主題を設定した。

3. 研究の進め方と方法



- ・毎週火曜日に研究推進委員会を実施し、進捗状況、方向性を確認する。
- ・「学力向上部会」、「仲間づくり部会」をそれぞれ3チーム編成とし、チーム長を配置し、協働的に研究推進する。
- ・月に2回、学力向上部会、教科主任会を開催する。また、学力向上部会は研究主任、教科主任会は主幹教諭が主宰し、数学科の取組を学校全体の取組に広げていくとともに、各教科の取組の共通認識を図る。
- ・研究主題を達成するため、新学習指導要領が示す方向性に近づく授業づくり・授業改善を行うために学校経営計

画に基づいて次のような取組を行い、確認・検証を行ってきた。

- (1) 授業研究の工夫 (2) 教科等横断的な取組 (3) 学力調査等の分析を活かす取組

・学力向上に向けて、年間スケジュール表に基づいて計画的に取り組む。年間スケジュール表は、本年度の4月から来年度の4月までを表示し、本年度の取組が来年度につながるようになっている。

平成31年度学力向上に向けた年間スケジュール



4. 新学習指導要領で示された資質・能力の育成をめざした授業づくり・授業改善

(1) 授業研究の工夫

①学習指導案の工夫・改善

昨年度に変更した学習指導案の形式を振り返り、主に学習指導案の表面について付け加え、変更を行った。中でも、生徒の主体的な学びとなる単元構想を描くために、「単元の目標」「教科の学習活動」「評価規準」「教科の見方・考え方」について検討を行った。

【単元の目標】

- ・新学習指導要領を読み込んで、本単元でめざす資質・能力を本校生徒のめざす姿として示す。

【教科の学習活動】

- ・教科の活動を構造化したものとして、

昨年度の取組

- ① 他教科担当が授業を参観してもわかるように、見やすく工夫してA3両面に記載。
- ② 単元でつきたい力(単元ゴール)・めざす生徒の姿を明確にする。
- ③ 単元構想 → 単元や題材のまとまりをいかに描くか。
- ④ 教師の意図と生徒の学びのズレがわかるように。

本年度の取組 (昨年度の取組に加えて)

- ⑤資質・能力を学習指導案にいかに描くか。
- ⑥深い学びづくりのへの様相を描く。
- ⑦見方・考え方を働かせている姿とは。

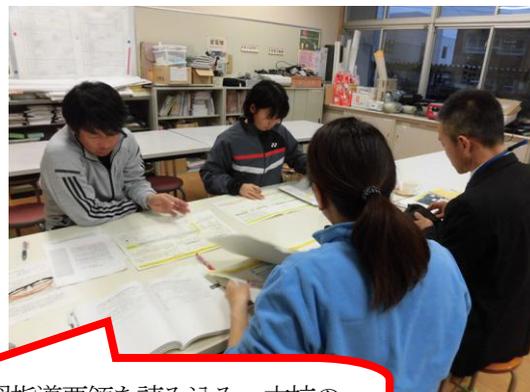
②研究授業について (教材研究・教材分析 → 教材研究会 → 研究授業 → 研究協議)

(i) 教材研究・教材分析

これまでに培ってきた見方・考え方を働かせれば、条件や場面が変わっても問題解決ができること、見方・考え方を成長させていけば新たな問題を発見し対応できることを経験、実感させるような単元づくりを研究する。

教材研究・教材分析のポイント

- ・単元ゴールに向けて、生徒が自ら問題解決に向かえるような単元構想であるか。
- ・これまでの経験や学びをつなげて、見方・考え方を働かせる単元構想になっているか。
- ・生徒の主体的な学びとなる単元構想になっているか。



学習指導要領を読み込み、本校の生徒のめざす姿を明確にする。



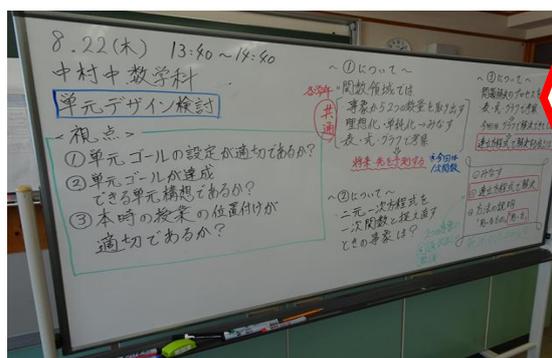
問題解決を支える「問い」をどうするか。生徒の主体的な学びとなる単元づくり、授業づくりのために他の教科担当者や職員にも、教科会へ参加してもらい、意見を聞く。

(ii) 教材研究会

研究授業の前に教材研究会を開き、作成した学習指導案について協議・検討する。その後、教科会で再度検討する。

協議の論点

- ・単元ゴール (単元で付けたい力) を達成するような単元構想であるか。
- ・単元ゴールに向かう「問い (問題)」であるか。
- ・単元ゴールに向けて学びを深める (高める) 工夫はどうか。
- ・意欲的に学べる題材の設定であるか。 等



各教科から論点説明



グループ協議



グループ発表